

第22回東北選抜学童軟式野球大会予選リーグ規定

1. 選手登録について

(1) 予選リーグは、25名まで登録可能。大会期間中の変更は認めません。

ただし、登録選手が25名未満であれば追加は認める。監督・コーチも同様とする。

(2) 予選リーグの背番号については、試合当日のメンバー表交換での記載番号を採用する。

(3) 本選出場確定クラブは、登録選手内にて背番号付のメンバー表を再度提出する。(別紙)

2. 試合時間・会場について

(1) 両クラブ協議の上、決定してください。球場代など、試合にかかる予算も両クラブで負担願います。

3. 試合進行

(1) 野球競技区画線(学童部) 墓間23m、投手間16m、固定ベース(移動ベース可)で行います。試合球はJ号球で行います。※大会公認球はナガセケンコーですが、予選は他社ボールでも可能。

(2) ベンチは、ホームチームが一塁側、アウエーチームが三塁側。

(3) 主審・墨審の4名は、両クラブより2名ずつ派遣。主審(アウエー)・墨審(ホーム2名・アウエー1名)の体制を推奨する。当日の状況にて適切な対応をお願いします。

※予選の主審・墨審のジャッジは、両クラブの代表者または監督が了解して試合開始した時点で、試合中の判定への批判・反論は出来ないものとする。審判を務める者にミス判定があった場合は、審判4名の協議の上、公平な判定を行う。

(4) ボール・ロジン等の試合で使用するものは両クラブで準備する事。

(5) シートノック等は、両チーム協議のうえ実施する。

(6) ベンチに入る人員は、代表責任者1名(成人)・監督1名(成人)・コーチ2名(成人)・スコアラー(小学生可)・登録選手25名以内とする。

(7) **全試合6回戦90分制。** 3回以降10点差。4回以降7点差のコールド制を採用する。

(8) 6回終了時引き分けの場合。1アウト満塁・継続打順の特別延長を行う。

(9) 引き分けは、なしとして決するまで特別延長を実施する。

(10) **予選リーグにおける1投手の球数制限は採用しない。**

(11) 4回終了までの試合続行が不可能となった場合は、別日に継続試合を採用する。

(12) 試合進行にあたり、項目以外は2026年公認野球規則・競技者必携を準用する。

4. 予選リーグ順位

(1) 勝ち数を最優先。次にリーグでの直接勝敗で順位を確定させる。

(2) 同順位に3クラブ以上並んだ場合で、直接勝敗で確定できない場合は、得失点差により順位を決する。得失点差でも並んだ場合は、総失点数→総得点数の順で判断する。

(3) 得失点差は、コールドゲーム得失点制を採用する。

コールドゲームの得失点差は何点差でも4回以内コールド終了は10点。

5回コールド終了は7点。6回終了時に8点以上差の場合も7点で計算する。

7回以降の特別延長にて決した場合は、得失点を1点とする。

5. 取決め事項

(1) ユニフォームは、必ずチームで統一したものにしてください。監督・コーチもユニフォームを必ず着用してください。カラーソックスはチーム内統一であれば可能とする。指導者はトレーニングシューズを可能とする。スパイクは同色でなくてよい。

(2) 試合前に、グラウンドルールを審判より明確に説明してから行うこと。

(3) 無登録選手を出場させた場合、没収試合として違反を犯したクラブの敗戦とする。また当日交換するメンバー表への記入漏れによる試合出場も同様の対応として没収試合とする。

選手の重複出場があった場合は、対象クラブは大会辞退とする。

(4) 予選リーグのスポーツ保険等は、各クラブで加入してください。

6. 大会本部より

予選リーグは参加チームの皆様のご協力が必要です。連絡者は事前に連絡を取り合い、円滑な日程調整・試合進行に努めていただけますようお願いいたします。同リーグの複数チームより苦情が多いチームに関しては、本部より指導させて頂きます。不適格と判断した場合は、辞退とさせて頂く場合がありますのでご注意ください。

また予選・本戦含めまして指導者は大会規約に関して熟読して頂き、試合・大会進行の妨げになる行為・本部や審判の指示に反する行為をされる指導者に関しては、退場処分とさせて頂きます。